



カラバッチョ作 ロザリオの聖母

10 月の予定

- 教会委員会 10 月 4 日
- 典礼委員会 10 月 11 日
- ロザリオの聖母 ミサ 10 月 7 日 10 時



十字架称賛の祝日のミサ

主任司祭 小林 陽一



「主イエス・キリストの十字架の他に、私たちに、誇るものがない」(ガラテヤ書 6 章 14 節)。

教会はキリストの十字架を大切にしていまいりました。イエス様が十字架を担って死んでいかれたということは、考えれば考える程、私たち信者にとってつらいものであります。イエス様が十字架の上で死んで下さったのは、人間の罪を担うためでした。

言い換えれば、キリストを信じる者は、キリストの十字架上の受難と死と復活によって罪が許され、贖われた民となったということが出来ます。

聖パウロは、回心する前の自分がキリストに敵対し、罪人であったのだと自覚し、自分が復活したイエス様に会って目が見えなくなった時、主はパウロの罪を赦し、信者として働くよう招いて下さったと解りました。聖パウロは、フィリッピ書 2 章で、心を込めて十字架上のイエス様を称賛し、「キリストは神の身でありながら、神としてのあり方に固執しようとはせず、かえって自分をむなしくして僕となり、人間と同じようになった」(フィリッピ書 2 章 6,7 節)と聖書に書き残しました。神であるイエス様が、自分をむなしくして、あえて僕の身となり、人間となって十字架につけられた。キリストは主である神に対して従順な方だったのだ、とパウロは言おうとしました。死に至るまで、十字架の死に至るまで、キリストはへりくだって、従う者になられた、とパウロは書いております。

主である神は、こうした形で仕えるキリストに真正面から行動をもって答えられました。そのように従順に死んでいかれたキリストに対し、主である神は、この上なくキリストを高め、全ての名にまさる名を惜しみなくお与えになりました。イエス・キリストは主であるという呼び方です。パウロは、フィリッピ書 1 章 16 節で、こう書いております。「天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものは、全てイエスの名においてひざをかがめ、『イエス・キリストは主である』と表明し、父である神の栄光を輝かすのです」。

教会は 9 月 14 日を十字架称賛の祝日と定め、祝ってきました。キリストの苦しみを自分の苦しみとして受け止め、十字架上のイエス様に感謝いたしましょう。

典礼こよみ (10月)

日	曜	ミサ・勉強会	備考
2	金	初金ミサ (10 時)	掃除 1 G
3	土	主日ミサ (18 時)	
4	日	年間第 18 主日 主日ミサ (9 時)	典礼委員会
7	水	ロザリオの聖母 記念日ミサ (10 時)	
10	土	主日ミサ (18 時)	掃除 2 G (9 時 30 分)
11	日	年間第 20 主日 主日ミサ (9 時)	教会委員会
17	土		掃除 3 G (9 時 30 分)
18	日	年間第 20 主日 主日ミサ (9 時)	
24	土		掃除 4 G (9 時 30 分)
25	日	年間第 21 主日 子どもと共に捧げるミサ (9 時)	
31	土		掃除 2 G (9 時 30 分)



# 私の信仰・雑感

小野寺 功

私の信仰のめざめが、いつ頃だったかを考えるとき、つぎのようなことが思い出されます。私が物心ついた小学校2年生のときのことです。なんの授業かは忘れましたが、先生が板書をしている間、私は隣の子をつついたり、からかったり、盛んにいたずらをしていました。

担任は渡辺という女の先生でしたが、突然パッと後をふり向いて、私を叱りました。

「小野寺さん、あなたは一体何をしていますのですか。先生が見ていないと思って、そんないたずらをして。先生が見ていなくたって、天井の節穴から、神様がじっとあなたを見ておられるのですよ・・・」。

そう言って、先生はまた板書を続けられました。この言葉はなぜか私の心に深く響き、家に帰ってから頭を離れませんでした。寝る前にも、部屋の天井の節穴を眺めながら、考え込んだことを覚えています。そしてこれが、「神らしきもの」を意識した、最初の経験だったと思います。

つぎに、私をキリスト教に向かわせた直接のきっかけは、昭和20年8月の敗戦経験でした。その頃は青年期の入口で、それまで教えられてきたことを土台にして、自己確立を果たそうとする矢先でした。そこで価値観の180度の転換があり、「精神の大地震」を経験したのです。

それ以後私がひたすら求めたことは、「新しい、本当の心の支えになる絶対的なものとは何か」ということでした。たまたま「カトリックダイジェスト」の広告で見た上智大学の名を知って、岩手から上京し、最初英文科に入学しました。しかし「心の支え」の方が気になり、哲学科に移籍することにしたのです。

しかし、哲学の研究では信仰は得られないことがわかり、寮の舎監であるボッシュ神父をお願いして「公教要理」を学び、一年後に受洗しました。ここで私は「節穴の神」から「イエス・キリスト」の神へと一挙に飛躍しました。

つぎに、信仰の深まりの第三の契機は、上智大学で、H・デュモリンという傑出した司祭と出会ったことです。デュモリン神父は、霊的にも深みのある方で、鈴木大拙とも親交のある世界的な禅学者でした。また「コングレガツオ・マリアナ」という「聖母信心会」の全国の指導司祭でもありました。

私はこの会に所属して、キリスト論に続く聖母信心の深い意味と、「聖霊」のもつ重要性について教わり、キリスト教を「父と子と聖霊」の三位一体の宗教として捉えることができるようになったと思います。

学んだ教理では、最初からわかっていることですが、これを体験として、自分の中に生かすことは、生涯の課題になります。ですから、最後の課題として、信仰を磨き上げる場として大切なのは、家庭、職場、それに所属する教会であると思うようになりました。

昨年6月1日、私は、御ミサで小林神父様の説教中、突然意識を失って倒れるという事件を引き起こし、ご迷惑をおかけしました。しかし私としては、あの時ほど教会共同体と、信者の皆さんのご親切を、身に沁みて感じたことはありませんでした。あれ以後、私はかなり変わったと思います、感謝しています。

また、今年の2月9日に、戸塚共立第一病院に入院しておられた小谷徳爾さんを見舞いました。名前を言ったらすぐ分かって、4、5分話すことができました。そして、最後の言葉はつぎのようでした。

「とにかく神父様が来て下さって、本当に有り難く思っています。御聖体を持ってね・・・。いい神父様ですよ」。これを3、4回繰り返していました。そして「あなたも教会のためにしっかりやってください。お願いします」と。

私は、今でも、教会への道すがら、お孫さんの小さな自転車に乗り、背をこごめて、前のめりに教会にやってくる、なつかしい小谷さんの姿が思い出されます。

# ヨゼフ会アンケートの集計結果について（8月23日現在）

幹事 鶴田 恒之

ヨゼフ会とその運営について、アンケートへの御返事、積極的な御提言有難うございました。

集計結果をまとめましたので、御報告致します。今後のヨゼフ会の運営に反映させていただきますので、宜しくお願い致します。尚、アンケートにご回答頂けなかった方は直接私に御返事頂けますと幸いです。

**問1：**私が運営を引き受け早や四年を経過しましたが、会計、例会のレジメ作成などを一人でこなすのは負担になっています。今後の方向としては、1) 継続、2) やめる？

アンケート結果：1) このまま続けるが全体の8割以上 2) 辞めた方が良いは1件 ※ 色々な作業を副の方をお願いする様にとのコメントがありました。

**問2：**今年は婦人の方々も御参加頂くようにと思っておりますが、これについて 1) 婦人の参加は不可、2) 参加する方が賑やかで良い？

アンケート結果：1) 婦人会の組織がない現在、参加を望むが9件 2) 参加を望まないが1件 ※ 賑やかにみんなの意見が聞けるとの御意見が多数ありました。

**問3：**サロンは信仰共同体の事業の一部と考えていますが、親睦会という考えもあります。今後の方向としては、1) このままで良い、2) 事業の一部と考えると消えてしまう、3) やめた方が良い？

アンケート結果：1) 2) 共同体の一部と考え続けて欲しい。貴重な教会の財産。等の意見が大半。3) 総てやめた方が良いは1件のみ。

**問4：**現在サロンの奉仕者を勝手に決めていますが、1) 自己申告制度が良い 2) 今まで遣りの決め方で良い？

アンケート結果：大多数の意見は、自己申告が一番良いが、申告して下さる方は少ないので、今まで通り決めて下さいということでした。サロンの奉仕当日、時間どおり来られない方は相手の担当の方に連絡をする等責任をもつて御対応下さい。

尚、十月以降サロンの当番に登録して頂いた方は下記の通りです。有り難うございます。

森脇氏、谷氏、井上氏、美底氏、七浦氏、小野氏、山本仁氏

**問5：**ヨゼフ会の例会を第三日曜としていますが、委員会と重複すると参加者が減少します。その時は、1) 少ない参加者でもやるべき 2) 中止しても良い？

アンケート結果：例会を他の週に移す、都合をつけて参加を望むとの方が多い。また半数の方が、小人数の時も例会を実施して下さいとのことです。

ヨゼフ会に積極的に参加し建設的な意見を出し合うことは交わりであり、自分の信仰の証しでもあると考え、御参加頂き、より良い共同体を築くことに熱意を持って対応して下さいますよう希望致します。

これからも、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 第18回 湘南キリスト教セミナー

恒例の湘南キリスト教セミナーが、今年は初めて中和田教会で開催されます。皆様是非ご参加下さい。

講師： 中谷 功 神父様  
日時： 11月7日（土）14時～16時  
会場： カトリック中和田教会  
参加費： 300円 定員： 100名



第18回  
湘南キリスト教セミナー

# イエスと出会う

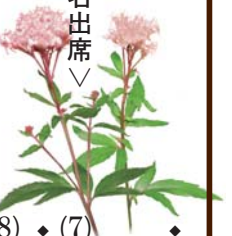
—山谷の寂しさと豊かさ—  
中谷功(フランシスコ会司祭「山里の家」)

11月7日(土)  
14時～16時

カトリック中和田教会  
参加費:300円 定員:100名  
主催:横浜教区神奈川第5地区  
カトリック 大船・磯治ヶ谷・戸塚・原宿  
藤沢・片瀬・中和田 教会

## 委員会だより

△ 9月13日(日) 7名出席▽



- ◆ 教会全員でバックアップして盛り上げて頂きたい(最大120名程の参加者を見込んでいる)
- ◆ 主日ミサのインフルエンザ対応…典礼グループ主導で検討
- ◆ 第5地区共同宣教司牧委員会(9/6…報告(議事録配布))…(飯説として「第5地区は小教区担当司祭5人体制」を想定し、3ブロックに分けて将来展望を考える
- ◆ 戸塚、原宿、中和田教会で『戸塚ブロック』を構成し、このブロックの打合せは9/27に行う予定
- ◆ 第1回横浜教区懇談会(5/24)の資料『教区長の時間』について…教区長が執筆されたメッセージであり、長文であるが貫かれていた主旨は『小教区中心主義』『聖職者中心主義』の克服である
- ◆ 信徒全員でよく読み、色々な集まりで議論を深めて頂きたい
- ◆ 小林神父より…「交わりとしての教会」のあり方について、良いアイデアを見逃している可能性がある。是非いろいろなグループで議論を深めて頂きたい。

### ■ 報告・審議事項

- (1) 建物工事… 一連のトイレ改修工事完了(報告)
- (2) 敬老祝福ミサ(9/20)… 当日段取り: 例年通り、祝福ミサ→記念品贈呈→記念写真撮影→祝賀会
- ◆ 教区報記載の指導に基づき、  
・「塗油の秘跡」は希望者のみとし、  
・「高齢者の祝福の祈り」を司式に追加する
- ◆ インフルエンザ対応の為、  
・祝賀会は飲み物と(袋入り)菓子に限る
- ・集会室入り口にもアルコール消毒剤設置する
- (3) 教会庭の手入れ…  
◆ 10/4(日)主日ミサ終了後に行う(庭木の剪定、草むしりなど)
- (4) バザー(10/25)…  
◆ 9/5に関係者の協力でバザー券と食券の準備は完了したが、本年度はインフルエンザ流行の為に開催の可否判断が必要。既に中止を決定した近隣教会もあり、保健所の指導、感染者数拡大の推移、近隣教会の動向などを踏まえて検討していく
- (5) 横浜教区一粒会大会(10/12)… 中和田からは10名程度参加を予定。藤沢教会手配のバスに合流
- ◆ 湘南キリスト教セミナー(11/7)… 山谷の「山里の家」で活動しておられるフランシスコ会 中谷功神父様を中和田教会にお招きして「イエスと出会う(―山谷の寂しさと豊かさ―)」と題してセミナーが開催される。

### ■ 各グループ連絡・報告事項

- a. 営繕G… トイレ改修工事、消防機器点検、等
- b. 財務G… トイレ改修支払い完了(¥2,562,500)、冷蔵庫購入(¥83,165)、火災保険契約更改、等
- c. 典礼G… カブラ購入、ロザリオの祈り(10月)、共同回心式、司祭の為の祈り、葬儀規程改定、等
- d. 福祉G… 孤立している方々への対応、神父様を交えてお話し、等。
- e. 行事G… 敬老祝福ミサ、バザー関連事項
- f. 宣教G… 湘南キリスト教セミナー、宮内助祭叙階式準備進捗、初聖体準備、等(資料のみ)

## 委員会後記 小野委員長

皆様ご承知の通り、新型インフルエンザの感染者が増加の一途を辿っており、学校関係では学級閉鎖や休校が増え続けております。とくに主日には、教会に子どもたちや高齢者の方々が多く集まります。手洗いや消毒はもとより、お互い感染防止に注意しましょう。聖堂入り口にはアルコール消毒剤が設置してあります。入堂時には必ず手の消毒をして頂きますよう、ご協力をお願い申し上げます。また、当面の処置として、聖水皿を撤去させて頂いております。これからも状況に応じて更なる対策をとって参りますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■ 何度かご案内しておりますが、委員会だよりに記載の通り、11月7日土曜日の午後2時から中谷功神父様をお迎えして湘南キリスト教セミナーが中和田教会で開催されます。中谷神父様は20余年間、山谷にて活動して来られ、実際のご体験を踏まえた貴重なお話が伺えると思います。是非ご参加下さい。

また、湘南キリスト教セミナーが中和田教会で開催される最初の機会となります。是非、中和田教会全員で盛り上げて頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。



## お知らせ

ご逝去 2009年9月12日

ヨハネ 金松 郁孝 さん ふみたか

転入 2009年8月27日付

二俣川教会より

- ジュオン・テー・ピンさん
- ホアン・タン・トウイさん
- ジュオン・ホアン・ギョク・リンさん
- ジュオン・ホアン・ギョク・リュウさん
- ジュオン・ホアン・ハ・ミさん
- ジュオン・ホアン・ナム君



祝 2009年9月20日 敬老祝福ミサ 中和田カトリック教会